

復興に係る県の男女共同参画関連施策について

環境生活部若者女性協働推進室関連事業

1 施策の方向

- 「いわて男女共同参画プラン」(H23 策定) では「男女が互いに尊重し合い、共に参画する社会」をめざして、意識啓発、家庭・地域・職場などでの実践、市町村との連携に重点を置き、取組を推進。
- 東日本大震災津波からの復旧・復興に多くの若者・女性が様々な形で力を発揮している状況を踏まえ、「復興計画第2期復興実施計画」(H26)において、重視する視点として「参画」を掲げ、若者・女性をはじめとした地域住民の幅広い参画により復興の取組を推進。

2 今年度の主な男女共同参画関連施策

(1) いわて女性の活躍促進連携会議～経済団体・産業団体等と連携した取組

本県の女性の活躍を推進することによって復興の加速化を進め、地域経済活性化に寄与することを目的として、経済団体や産業団体等 17 団体による連携組織「いわて女性の活躍促進連携会議」を平成 26 年 5 月 22 日に設立し、女性の活躍に関する実態調査や講演会・セミナー等を実施。《別紙「いわて女性活躍促進会議」について》

(2) 普及啓発

【いわて男女共同参画フェスティバル】 (6/15 実施)

男女共同参画センターと復興庁男女共同参画班の共催による分科会において、男女共同参画の視点からの復興まちづくりについて、パネルディスカッションを実施
復興庁男女共同参画班によるパネル展示

【男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業】(9月以降開催予定)

平成 25 年 5 月に内閣府が作成した「男女共同参画の視点からの防災・復興」に基づき、防災や復興に男女共同参画の視点を持って取り組む地域住民等を増やし、もって復興が加速することを目的として、男女共同参画の視点からの防災・復興に関する講演会及びワークショップを実施

会 場：県内 2 か所 (内陸 1 か所、沿岸 1 か所)

対象者：地域住民、男女共同参画サポーター、市町村職員、社協職員、県職員等

【復興庁 男女共同参画事例集に係る事例収集への協力】(随時)

女性が活躍している事例や被災地の女性を支援している事例等を復興庁男女共同参画班が収集し作成している「男女共同参画の視点からの復興～参考事例集～」について、掲載候補事例の情報提供や掲載事例取組団体等への連絡などを協力

(3) 人材育成

【男女共同参画サポーター養成講座】 (7/2 実施)

復興・防災・減災に関する講座を一般にも公開して開催し、男女共同参画の視点からの復興・防災について学ぶ機会を提供し、男女共同参画の視点をもった人材を育成

(4) 相談関係

【内閣府 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業】(通年)

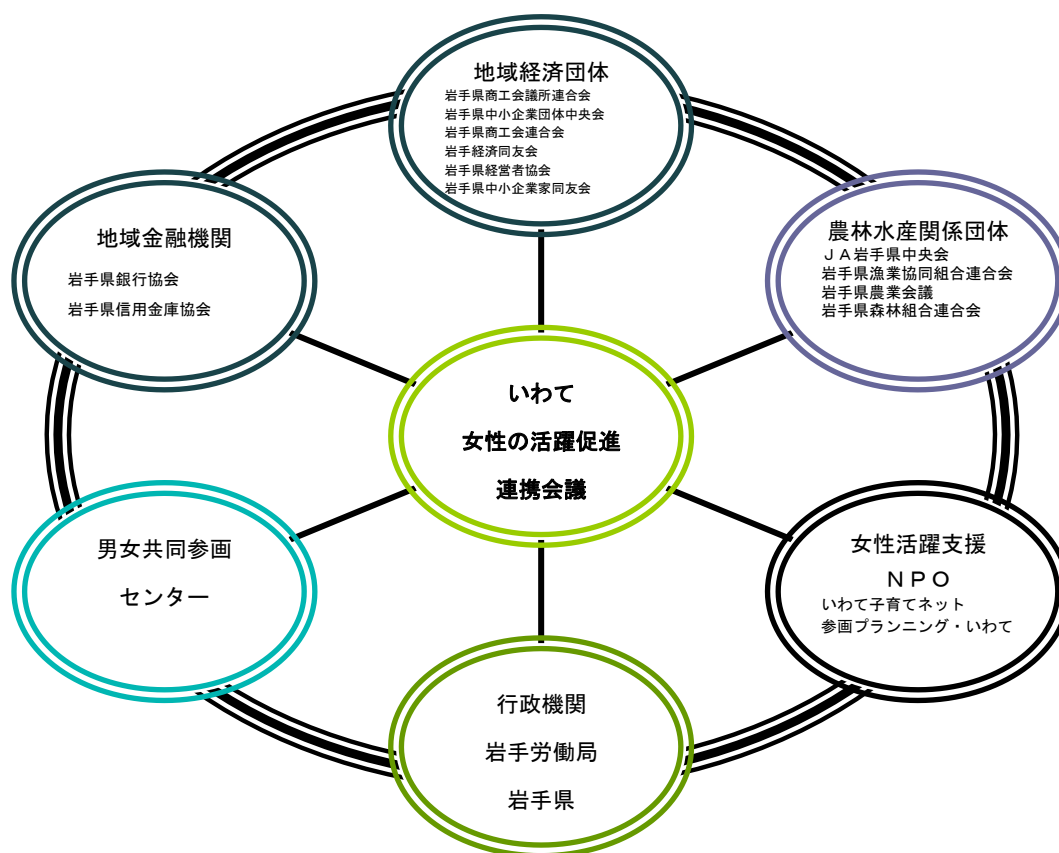
内閣府男女共同参画局において、東日本大震災による女性の様々な不安や悩み、女性に対する暴力に関する相談事業を実施し、県では内閣府と共催し、本相談窓口の周知等広報を実施

【男女共同参画センター、配偶者暴力相談支援センターでの相談】(通年)

男女共同参画センターでの相談や、配偶者暴力相談支援センターでのDV相談を通年実施し、広く周知

※昨年度の主な男女共同参画関連施策は【参考】資料を参照

いわて女性の活躍促進連携会議について（平成 26 年 5 月 22 日設立）



1 目的

少子高齢化社会において労働力人口の減少が見込まれる中、女性の労働力を活用することは経済活性化のために必要なことであるとともに、東日本大震災津波からの復興においては、オール岩手での取り組みが必要であり、特に女性の活躍が求められている。

このため、岩手県の女性の活躍を推進することによって復興の加速化を進め、地域経済活性化に寄与することを目的として、経済団体や産業団体等の関係団体による、いわて女性の活躍促進連携会議を設置する。

2 連携会議参加団体

上記の図のとおり（経済団体・産業団体等 17 団体で組織）

3 事業内容等

- (1) キックオフイベント（6月15日プレイベント、7月15日講演等）
- (2) 実態把握のための事業所等調査（女性の活躍に関する基礎データと意識を調査）
- (3) 県内企業等における女性登用に関する目標設定等
 - ① 目標・宣言企業の見える化（ホームページ等での公表）
 - ② 職場環境改善支援（社会保険労務士等派遣）
- (4) 企業及び経営者、女性職員への支援
 - ① 経営者や管理職を対象としたセミナーの開催
 - ② 女性キャリアアップのためのロールモデル提供研修
- (5) 女性による創業への総合的な支援
 - ① 女性起業相談会、研修会等の開催
 - ② いわて女性のチャレンジ支援サイトを活用した情報発信及び支援（既存サイト活用）

4 その他

- (1) 連携会議は、年2回程度開催し、担当者による会議は年4回程度の開催を予定。
- (2) 今年度は、内閣府の「地域女性活躍加速化交付金」を活用して事業実施。

【参考】昨年度（平成 25 年度）実績

1 男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業について

参加人数：計 129 名

場所	日時	会場	講師	
			講演	ワークショップ
釜石	平成 26 年 1 月 23 日 (木) 13 時～16 時	岩手大学釜石サテライト	岩手大学男女共同参画推進室 准教授 堀久美さん	内閣府 大臣官房審議官 (男女共同参画担当) 別府充彦さん 男女共同参画局調査課 社会的影響調査チームリーダー 土井真知さん
宮古	平成 26 年 1 月 24 日 (金) 13 時～16 時	フラットピアみやこ		
久慈	平成 26 年 1 月 30 日 (木) 13 時～16 時	久慈市文化会館会議室		
大船渡	平成 26 年 2 月 15 日 (土) 13 時～16 時	大船渡地区合同庁舎大会議室	東京大学社会科学研究所 教授 大沢真理さん	

2 男女共同参画センター事業について

(1) いわて男女共同参画フェスティバルにおいて、復興関係の分科会の開催やパネルの展示

分科会 1 講話「被災地の子ども達の現状と家庭支援」

講師：(社福) 大洋会児童家庭センター大洋 心理療法士 船野克好さん

分科会 2 講演「3.11 から学んだこと わたしたちができること」

講師：(株) 高田自動車学校代表取締役社長 田村満さん

展示 「復興における男女共同参画」(復興庁男女共同参画班)

(2) 男女共同参画サポーター養成講座において、防災・減災に関する講座を開催

「復興・減災における男女共同参画～災害時になぜ女性の視点・参画が必要なのか」

講師：東日本大震災女性ネットワーク

運営委員・研修コーディネーター 浅野幸子さん

世話人 丹羽雅代さん

(3) 東日本大震災からの振り返りと女性の視点で今後の復興や防災を考えるため、男女共同参画センター職員が沿岸被災地に出向いて、講演会や女性とのトークディスカッション等を実施

H26. 2. 11 大船渡市 (男女共同参画の視点から岩手の復興と未来を考える講演会)

H26. 2. 23 陸前高田市 (映画上映会とトークディスカッション)

3 その他事業について

東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業について

内閣府男女共同参画局において、東日本大震災による女性の様々な不安や悩み、女性に対する暴力に関する相談事業を実施しており、本県では、NPO 法人参画プランニング・いわての尽力により、全国で最も早い平成 23 年 5 月 10 日から実施

県は、本相談窓口の周知等広報を実施

【相談件数】

H23. 5. 10～H24. 2. 10(3 拠点) 705 件

H24. 2. 11～H24. 3. 31(4 拠点) 322 件

H24. 4. 1～H25. 3. 31(4 拠点) 1,283 件

H25. 4. 1～H26. 3. 31(2 拠点) 1,376 件